

降誕節第7主日

主日家庭礼拝順序

頌 栄 28

交読詩編 詩編78:30~39

讚美歌 433(1節)

聖書 マタイによる福音書15:21~31

説教 「いやすキリスト」

祈り

使徒信条 93-4A

讚美歌 532(1節)

主の祈り 93-5A

■家庭礼拝の守り方

時間になりましたら、静かに心を整えて黙禱し、礼拝順序に合わせて礼拝を守りましょう。同じ時に、主にある兄弟姉妹と共に礼拝している事を思いながら礼拝を捧げましょう。

頌栄 最初に神様に栄光を帰します。

交読詩編 神からの呼びかけと人の応答です。

讚美歌 神を讚美します。

聖書 神の御言葉を読みます。

説教 御言葉の解き明かし。神様は私に何を語りかけて下さるのかを思いながら読み、しばらく黙想しましょう。

祈り 御言葉を心に留め、主に祈ります。

使徒信条 信仰を告白します。

讚美歌 御言葉への応答・感謝の讚美です。

主の祈り イエス・キリストの教えて下さった祈りで終わります。

献金 ゆうちよ振替口座 01110-0-55253

◆説教「いやすキリスト」

主イエスはガリラヤからティルス、シドンの地方へ行かれた。そこは地中海に面したフェニキアの町(現在のレバノン)で、異邦人が多く住んでいる所である。その時、カナンの女が出てきて、「主よ、ダビデの子よ、わたしを憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています。」と叫んだ。22節の「出て来て」というのは、異教の精神的、文化的、宗教的世界から出てきたという事。ユダヤ人とカナン人はお互いに反目しあっていた。しかしそのカナンの女が娘を思う一心から主イエスに救いを求めているのである。「主よ、ダビデの子よ」と叫んだのは、彼女の実存をかけた心の底からの叫びであり、メシアの救いを求める異邦人の心の底からの求めなのである。

カナンの女の求めに対して、主イエスは3度も拒否されていたが、2度目の拒否の理由はイスラエルの家の失われた羊のところにはしか遣わされていないというものであった。主イエスはまず、イスラエルの救いのために働く計画があった。しかし、イスラエルに注がれた恵みは、イエスを信じる異邦人にも及んでいくのである。主イエスが、「子供たちのパンを取って小犬にやっちはいけな」とお答えになると、女は言った。「主よ、ごもつともです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです。」小犬である事をわきまえつつ「食卓から落ちるパン屑」はいただくことが出来るという謙遜と信仰を告白している。つまり、この異邦人の女性

は、ほんの少し、パンくずほどのあわれみを下されば、主イエスから力をいただくことができるのだという信仰を表明したのである。そこで、イエスはお答えになった。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」そのとき、娘の病気はいやされた。彼女のねばり強さは神を信じる信仰に基づいたものであって、事態をより良い方向へと変えることのできたのである。主イエスは彼女の信仰を称賛し、彼女に限りない愛を示された。

そしてガリラヤに行かれて、山に登って座っておられると大勢の群衆が来たので、さまざまな病の人を癒された。彼らはイエスのわざを見て驚き、イスラエルの神を賛美したとある。つまり、癒された者の多くが異邦人であることが分かる。ここでも「食卓から落ちるパン屑」であるメシアの救いのめぐみが異邦人にも与えられていたことが分かる。

◆祈り

イスラエルの民だけでなく、異邦人をも愛して癒され、救いに導いて下さった復活の主イエス・キリストに感謝の祈りを捧げる。新型コロナウイルスが一日も早く終息するように。引き続きキリエ・エレイソン(主よ、憐れみ給え)と祈りましょう。

■教会 緊急事態宣言の延期に伴い、3月7日(日)まで家庭礼拝形式になります。

2月14日(日)礼拝後定例幹事会

■教会学校

2月7日(日)9:00

お話 岡本聖美牧師 奏楽 中嶋順子姉

2月14日(日)9:00

お話 上野博美姉 奏楽 田中祐子姉

■今後の主な予定

○幼稚園 2月9日(火)王子動物園